

令和6年度シラバス (国語)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	国語(論理国語)	単位数	3単位	学年(コース)	6 学年
使用教科書	桐原書店『探求 論理国語』				
副教材等	ラーンズ『進研 WINSTEP Plus 現代文』、尚文出版『完成現代文3』、『上究現代文』『大学入試に出た核心漢字2500+語彙1000』、数研出版『国公立二次過去問選 現代文編』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

大学進学を想定している生徒が大多数を占めることから、

- ① 基本的な言語事項について、表現方法や文脈を踏まえた活用ができる正確な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、根拠を含む論理性を備えた思考力を身につけることを目指します。
- ③ 自分の思考を的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
- ④ 発展的な知識教養にも触れ、自発的に見識を深める姿勢の習得を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
--	--	---

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	評論Ⅰ	5 「B 読むこと」	高階秀爾 「オブジェとイメージ」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。 	5	授業観察 発問評価 課題点検
5		5 「B 読むこと」	日高敏隆 「人間の領域」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・本文中の語句の意味を正確に理解する。 	5	授業観察 発問評価 課題点検
	評論Ⅱ	5 「B 読むこと」	今村仁司 「市民社会化する家族」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。 	5	
6		5 「B 読むこと」	平野啓一郎 「身体と出現」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・本文中の語句の意味を正確に理解する。 	5	授業観察 課題点検 定期考査

7	評論Ⅲ	5 「B 読む こと」	中村雄二郎 「言葉の 〈意味〉と 〈表徴〉」	る。 ・筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。	5	
		5 「B 読む こと」	桑子敏雄 「霧の風景」	・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・本文中の語句の意味を正確に理解する。 ・筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。	5	授業観察 発問評価 課題点検
	近代を見つめる	5 「A 書く こと」	芥川龍之介 「侏儒の言葉」	・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・筆者の考え方に対する自分の考えを作文の形式で書く。	5	授業観察 発問評価 課題点検
8	評論Ⅲ	6 「B 読む こと」	鈴木宏子 「「貫之は下手な歌よみ」か？」	・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 ・本文中の語句の意味を正確に理解する。 ・筆者の考え方に対する自分の考えを述べる。	6	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
9	「書く」一問いに答える	20 「A 書く こと」	吉見俊哉 「知的創造のために」	・本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。	20	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
10			「書く」ことへの挑戦 —小論文を書く	・筆者の考え方に対する自分の考えを小論文にまとめる。		
11	総合演習	10 「B 読む こと」	単元融合問題	・論理国語の学習内容を活かして、総合的に考察し、判断できる力を養う。 ・問題演習により、マーク・記述問題に対応できる論理的思考力や構造的把握力をつける。	10	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
12	総合演習	15 「B 読む こと」	単元融合問題	・論理国語の学習内容を活かして、総合的に考察し、判断できる力を養う。 ・問題演習により、マーク・記述問題に対応できる論理的思考力や構造的把握力をつける。	15	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
1						

2	総合演習	9 「B 読むこと」	単元融合問題	<ul style="list-style-type: none"> 論理国語の学習内容を活かして、総合的に考察し、判断できる力を養う。 問題演習により、マーク・記述問題に対応できる論理的思考力や構造的把握力をつける。 	9	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	「書く」一問いに答える	10 「A 書くこと」	「書く」ことへの挑戦 ーレポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> 本文に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。 筆者の考え方に対する自分の考えをレポートにまとめる。 	10	授業観察 発問評価 課題点検

計 105 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの	A「書くこと」	B「読むこと」
授業時数合計	35 時間	70 時間

7 課題・提出物等

- ・家庭学習用の課題を適宜指示します。
- ・各単元の特性に応じた、発表やレポート作成等の時間を設定しています。
- ・長期休業中の課題について別途指示します。

8 担当者からの一言

- ・「論理国語」は、「書く」、「読む」など様々な活動を通して、知識だけでなく、論理的読解力や思考力、表現技法等を身につける科目です。すべての教科の基礎となる科目です。自分のものになるよう、積極的に授業に臨んでください。
(担当：原)